

令和4年度の順応的管理における取組内容

1. 令和4年度の順応的管理における取組内容

(1) モニタリング調査

下記のスケジュールでモニタリング調査を実施する。

湿地のモニタリング時期

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計回数
水質	水温、D0、濁度、pH、塩分、電気伝導率、酸化還元電位	■												12回
	T-N、T-P	■			■			■			■			4回
底質		■			■			■			■			4回
生息環境	水面の広さ					■						■		2回
	水深	■			■			■			■			4回
生物相	鳥類	4回	4回	1回		2回	4回	2回	1回	1回	1回	1回	1回	22回
	水生昆虫類	■			■			■			■			4回
	植物				■			■						2回
	上記以外の分類群の侵略的外来種※													—
植生						■						■		2回

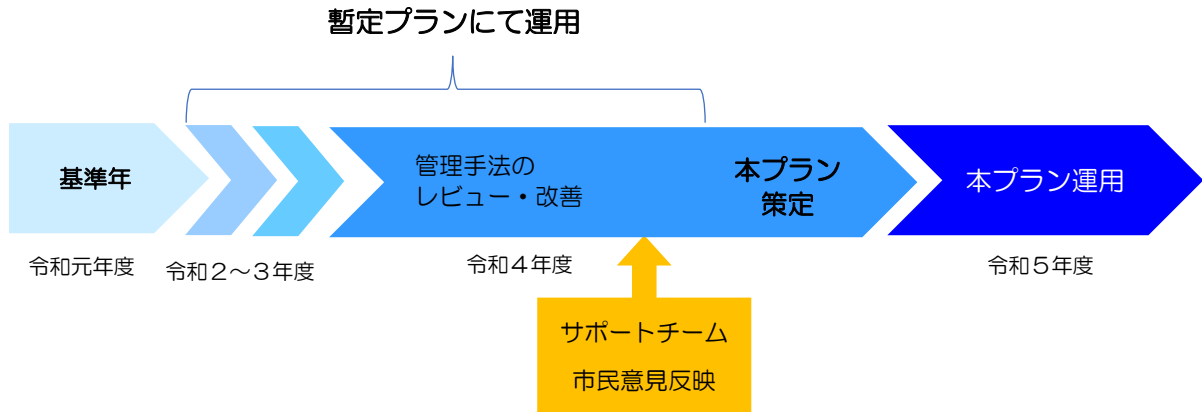
※ 鳥類、水生昆虫類、植物、植生調査の実施時

(2) 管理手法のレビュー

「アイランドシティはばたき公園 湿地の順応的管理計画〈暫定プラン〉令和4年1月版」に基づき、令和4年度までのモニタリング結果が、下記の目標達成基準を達成していない場合は、管理手法のレビュー・改善を実施する。

指標項目	目標レベル・目標達成基準	目標達成年次	
水質	・ 季節的な動向が過年度と同じであること、また、経年的に値が上昇し続けないこと	3年	
底質	・ 底質の外観・臭いが過年度と変化がないこと		
生息環境	・ 整備初期段階の水面の広さを維持すること ・ 整備初期段階の水深を維持すること		
生物相	鳥類の生息状況		・ シギ・チドリ類、サギ類、陸ガモ類の種数の減少が経年的に生じていないこと
	水生昆虫の生息状況		・ 種数の減少が経年的に生じていないこと ・ 多様度指数に顕著な変化が生じていないこと
	植物相の生育状況		・ 侵略的外来種が侵入していないこと
	上記以外の分類群の生息状況		・ 侵略的外来種が侵入していないこと
植生	・ 整備初期段階と比較してヨシが拡大し、水域の広さと水際の移行帯が顕著に減少していないこと ・ 小型のシギ・チドリ類が利用できる裸地が確保されていること		

(参考)「アイランドシティはばたき公園湿地の順応的管理計画(本プラン)」の策定まで



### (3) アドバイザー会議の実施(2回程度)

令和4年度はアドバイザー会議を年2回程度開催したいと考えております。

内容としては、管理手法のレビュー(目標達成基準年度)及びサポートチーム(仮称)の市民意見等の反映を実施し、令和4年度末の本プラン策定を目指します。

会議開催時期は、夏期(7~8月頃)および冬期(1~3月頃)に開催を予定しております。

### (4) 多様な主体と共働した湿地の管理運営に向けた取組み

将来的に湿地の管理運営をアイランドシティはばたき公園の意義に賛同する市民で構成されるサポートチームが担うことを目指し、令和4年度は年間10回程度のサポートチーム育成プログラムの実施及び全市民を対象とした、市民見学会の開催を予定しています。

### (5) 維持管理活動

水域の広さや確保し、移行帯の植生を抑制するため、ヨシ等の除去を引き続き行っていきます。また、特定外来種のナルトサワギクについては、継続して除去を行っていきます。